

讃岐国分寺跡 万葉の花暦

はなごよみ

時期は平成28年度の開花状況です。

4月上旬

名前も知らない草もかわいらしい花を咲かせる季節です。広い史跡公園ですみれを探してみませんか？



すみれ (スミレ)



あしび (アセビ)

北側の高木の陰でしとやかに咲いています。

5月下旬

いろいろな種類を植えています。さて、どんな色のお花が咲くでしょう？



あぢさる (アジサイ)

乾燥しがちな西側で、がんばって小さな花を咲かせています。



うのはな (ウツギ)

6月下旬

東の築地塀の前で鮮やかな花を咲かせてくれます。雨に濡れた姿もすてきです。



わすれぐさ (カンゾウ)



はぎ (ハギ)

秋の七種が6月に咲いてびっくり！

7月上旬

北側の木陰で一際目を引くお花です。



やまぶき (ヤマブキ)



あぢさる (アジサイ)

8月下旬



はぎ
(ハギ)

僧坊覆屋の
東側、サツキ
の植栽前で
咲いています。



やますげ
(ヤブラン)

強風で枝が少し折れてしまいました。風に負けないくらい、大きくなあれ。

9月中旬



いちし
(ヒガンバナ)

虫に好かれて、
葉っぱも花芽も
全部食べられそ
うになりながら
も危機を乗り越
え、やっと咲い
てくれました。



あさがほ
(キキョウ)

子どもの頃に見たような、群生になりますように…

10月中旬

白一色のお花
もあります。



それぞれの万葉歌と
解説の入った植物名
札を添えています。

ふぢはかま
(フジバカマ)

2月下旬

アセビの
つぼみが
ふくらむ
と春が来
るのです。



あしび
(アセビ)

特別史跡讃岐国分寺跡の史跡公園では、万葉集に詠まれた植物を地元の皆様が大切に育てています。伽藍模型や築地塀、僧坊覆屋内の展示と併せて、国分寺が建立された当時の人々が歌に詠んだ木や草花もご覧いただき、往時をしのんでみてはいかがでしょうか。

場所：讃岐国分寺跡史跡公園（JR国分駅から徒歩約5分、80番札所国分寺の北側）

お問い合わせ先：讃岐国分寺天平文化倶楽部 万葉植物部会

（高松市讃岐国分寺跡資料館内 087-874-8840）